

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院集中治療室で治療を受ける患者さん・ご家族の方へ
「重症患者における Refeeding 症候群リスクとその発症率：後ろ向き観察研究」について

(1) 研究の目的

リフィーディング症候群とは、高度な低栄養状態にある患者さんにいきなり十分量の栄養補給を行うことにより発症する一連の代謝合併症の総称をいいます。しかし、現在でもその病態について完全には解明されておりません。様々な重症の患者さんが入室する ICU でも例外ではなく、重症の患者さんがリフィーディング症候群を発症した場合、死亡率が高く、適切な治療により死亡率の改善が報告されています。我々は、2016 年からリフィーディング症候群の発症を予防するため、リフィーディング症候群のリスクに注目し、適切な治療や栄養療法を行ってきました。そして、2020 年、本邦の ICU ではリフィーディング症候群の高リスクの患者さんが約半数存在し、リスク上昇に伴い死亡率が上昇することを報告しました。しかし、リフィーディング症候群のリスクに該当した患者さんが実際にどの程度リフィーディング症候群を発症するか、また、発症が死亡に関連するかは不明なままです。

我々は、この疑問を解決するために当研究を計画しました。各リスクにおける発症頻度を正確に把握することで、ICU に入室する患者さんの栄養療法の向上や死亡率低下に貢献できると考えています。

本研究は聖マリアンナ医科大学生命倫理委員会の承認を得て行っております。

(2) 研究の方法

2016 年 12 月 1 日～2019 年 4 月 30 日に当院 ICU に入院され集中治療医が担当した患者さんが対象となります。患者さんの年齢、性別、既往歴、栄養状態、治療に使用したお薬等の情報が記録されます。本調査は純粋な調査研究であり、患者さんへの直接的な介入や侵襲はなく、いかなる利益・不利益も生じません。また、情報はすべて匿名化され、個人が同定されることは決してありません。

※この研究の対象となられる方で、ご自分あるいはご家族の情報を登録されたくない場合には、2022 年 3 月 31 日までに下記連絡先までご連絡下さい。お申し出のあった患者さんの情報は削除し、研究データとして使用することはありません。また、お申し出により何ら不利益を被ることはありません。なお、2022 年 3 月 31 日までに申し出がなかった場合には、参加を了承いただいたとさせていただきます。

連絡先 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター
住 所 : 〒241-0811 横浜市旭区矢指町 1197-1
電 話 : 045-366-1111 (代表)
担当医師 : 吉田 稔 PHS 8454